



発行者 楽しい株式会社

住所 北九州市若松区向洋町10番1

北九州エコタウン実証研究エリア内

Tel 093-752-5300 fax 093-752-5303

ハチドリ通心(信)

2009年6月号 E-mail ceres@fun-c.jp URL http://www.fun-c.jp

「メリーズシステム」は、おかげ様で10周年

「メリーズシステム」事業は、今秋おかげ様で10周年を迎えます。支えて下さった皆様に、心より感謝を申し上げます。

さて、この1年は、新規のお客様が、今までの企業から、行政、官公庁が増えました。経費削減効果は、実は市町村の方があつたりします。

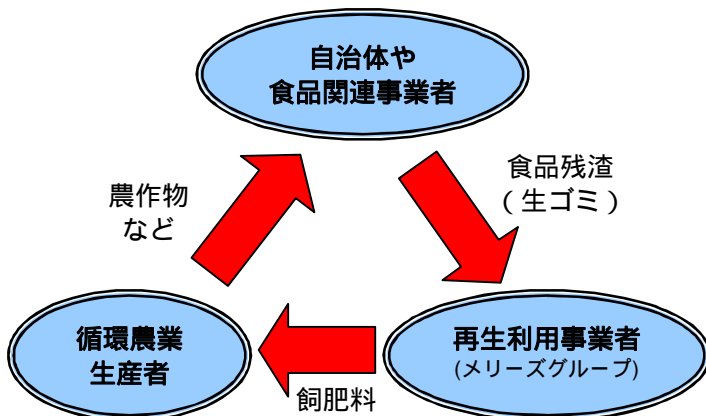
なぜでしょう？ それは、ゴミの焼却や埋め立ては、市町村の税金がたくさん使われていたりします。ゴミ処理にかかる税金を少しでも少なくして、他へ利用したいと思う自治体が出ています。また、生ゴミなどをバイオマスととらえ、肥料化などのリサイクルに取り組む「バイオマスタウン構想を公表された自治体」が、平成21年4月末日現在で208件になりました。焼却炉を持たない自治体もあります。このような自治体に、メリーズシステムが活躍し始めました。

最も取り組みやすいと評価を受けているのは、小中学校や給食を作る保育園。メリーズシステムへ参加される小中学校様は、

生ゴミの処理だけではなく、
生ゴミを堆肥にリサイクルしたり、
その堆肥を使って花や野菜を育てたり、
出来た野菜を残さず食べてゴミも減り、
調理残渣(ざんさ)は、また堆肥へ・・・

など、「食育」でも大変喜ばれています。

メリーズシステムのリサイクルループの主役は、以下の通りであり、メリーズシステムは、このループを実現します。



この循環の中で、当社は、自治体や食品関連事業者に生ゴミ処理機を販売するだけではなく、レンタルできることが、特徴です。そして、2次、3次発酵を行い、良質な堆肥を製造します。また、当社の契約農家(下郷農協様など)にて農作物を生産し、自治体や食品関連事業者へ農作物の販売を行うことが可能です。

食品リサイクル法の定期報告 せまる

<平成20年度の定期報告期限は、6月末迄です>

報告義務は、年間100トン以上の生ゴミを排出する食品関連事業者です。メリーズシステムの取り組みで記入方法がわからない方や、取り組みの強化を考えている方は、早めにお問い合わせ下さい。

<生ゴミ処理>と<竹割り箸>の採用で「メリーズシステム」に取り組むハチドリ

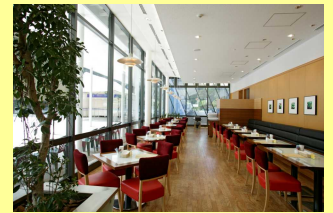
ホテルニューオータニ博多(福岡市)

九州国立博物館

レストラン「グリーンハウス」(太宰府市)

ホテルニューオータニ佐賀(佐賀市)

九州国立博物館の唯一のレストラン、実はホテルニューオータニ博多様が運営されています。そこで博物館オープン前から活躍する生ゴミ処理機「九国博太郎」くん。この名前は当時から



九州国立博物館グリーンハウス

の伊藤シェフとオープニングスタッフで命名して頂きました。博物館の休館日はレストランもお休み。しかし3年半の間、1日も休まず「九国博太郎」くんは働きます。レストランには、博物館オリジナルメニューもあり、一流ホテルの味が手軽に召し上がれます。

そして今回、5月より博多と佐賀のホテル内でも全面的に「セレス安全な竹割り箸」を採用頂きました。また、このお箸をととても気に入って頂き、地域のイベントへも割り箸協賛をして頂いた事もありました。もちろんホテルで使い終わった

割り箸は、全て回収して炭にリサイクルしています。

ホテルは価格が高いと思われていませんか？でも、意外とお得なメニューや宿泊もあつたりするんですよ。近くの方はのんびりと、遠くの方は出張やレジャーでの宿泊もいかがですか？



ホテルニューオータニ佐賀

メリーズシステムを資金面で支えるハチドリ Well Being Club(ウェルビーイングクラブ) オーナー様

運用4年目となった Well Being Club(ウェルビーイングクラブ)。市民資本と一体となった環境取組として各方面より評価されています。

(最近オーナーになられたばかりのSさんの感想) 偶然ネット上の記事(ダイヤモンド社 DIAMOND online <http://diamond.jp/series/miyama/10009/>)でWBCを知り、「本当にこんなに良い事尽くめなシステムがあるの？」と興味を惹かれました。エコ活動や社会貢献に興味はあってもきっかけを見つけられずにいたので、早速問い合わせの後リサイクルセンターを見学、松尾社長のお話を聞き、今後絶対に広く普及して欲しいシステムだと確信しました。株など投資の経験はありますが、こんなに楽しい気分になれるのは初めて。もちろんこの不況下での高利率も大きな魅力です。

ハチドリ通心(信)は楽しい株式会社のホームページでご覧いただけます。URL: www.fun-c.jp/ (松尾隆貴が担当しました。)